

視点を变えてまちを見つめると、いろんな可能性が見えてくる。

d,dstyle

おおいたのまちを刺激するフリーマガジン VOL.2

特集：屋上に棲む

ーとっておきの場所を手に入れたふたりー

無料

ご自由に
お取りください



視点を变えれば、夢実現への道がきっと見つかるはず・・・。

新大分土地株式会社

本社：大分市中央町1-5-25新大分ビル4F
TEL.097-534-3371 FAX.097-536-3522

府内営業所：大分市府内町1-6-19三浦ビル1F(サンサン通り)
TEL.097-536-2002 FAX.097-533-9081

E-mail:tochi@shinoita.com

<http://www.shinoita.com>

d,dstyle vol.2 平成15年10月発行 企画・編集:d,dproject





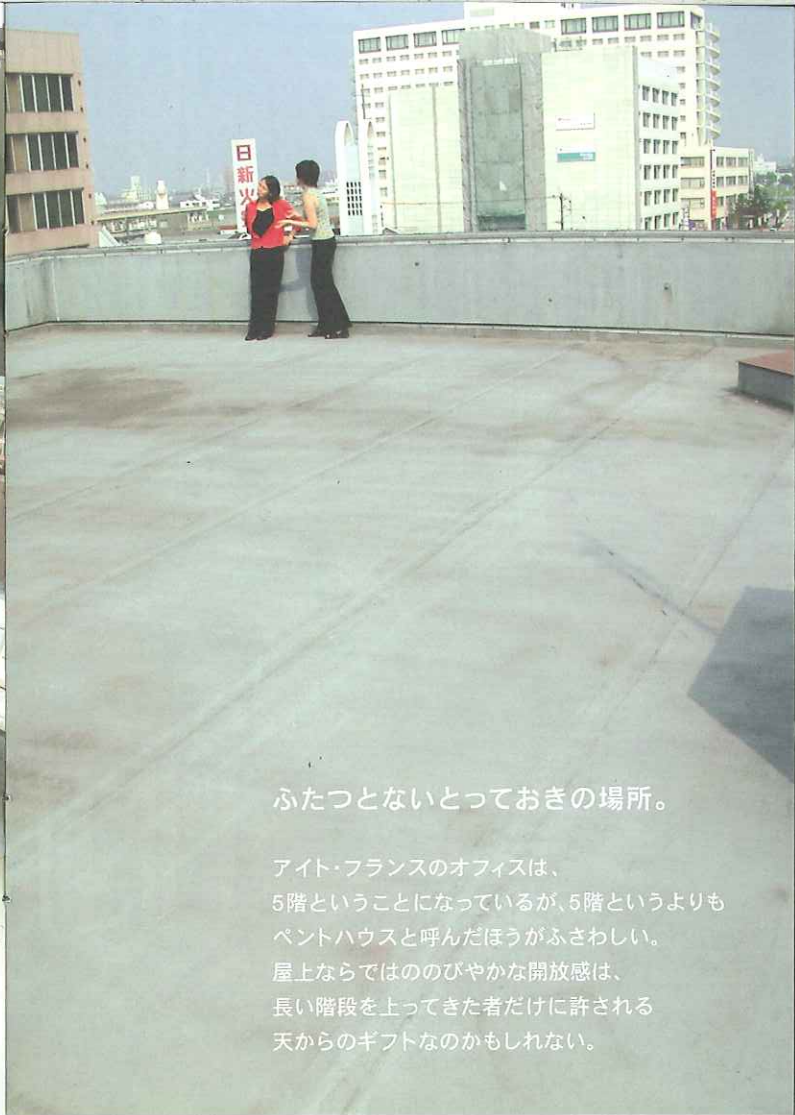


nous faisons
l'aimé le chien plus qu
l'anglais est plus difficile que
2 heures par jour
soirée



ようこそ、アイト・フランスへ。

長い長い階段をのぼっていくと、
アイト・フランスという名のオフィスがあった。
A.I.T.Oとは、大分フランス語通訳・翻訳協会の
仏訳の頭文字からとったものだという。
室内には、そこかしこに、
"スライス・オブ・フランス"とでも
呼びたくなるものであふれていた。



ふたつとないとおきの場所。

アイト・フランスのオフィスは、
5階ということになっているが、5階というよりも
ペントハウスと呼んだほうがふさわしい。
屋上ならではののびやかな開放感は、
長い階段を上ってきた者だけに許される
天からのギフトなのかもしれない。

Q1.以前の職業は？

TVリポーター・ラジオナビゲーター・
小中学校事務職員・中学校英語指導助手
(英会話講師 通訳
プライデル学会)

Q2.好きな食べ物は？

Chocolate、チョコレート・スノーフード

Q3.好きな音楽は？

Jazz ポサノバ

Q4.今まで行った一番遠い場所は？

←西 スペイン
→東 カナダ (バンザー) 友人と旅行

Q5.きょうだい構成は？

第1子 (ユウイ) 理容師修業中

Q6.最近ハマっている事は？

茶道

Q7.今、財布に入っている金額は？

¥16,000 (ファミリーマートお月見)

Q8.今日の仕事の後の予定は？

夕食の支度

Q9.紅葉谷さんの性格は？

心配性

Q10.あなたの宝ものは？

チェーン・(ネックレス) プレスレット
友人からの最初のプレゼント 友人から
友人から (友人)

ここは仕事場というか
遊び場に近いか。



IKEDA Yukako

いつも太陽と青い空を
近くに感じていたんです。

MOMIJIYA Masayo

Q1.以前の職業は？

ラジオのパーソナリティー。

Q2.好きな食べ物は？

パスタ トマトベースの料理。

Q3.好きな音楽は？

民族音楽。坂本龍一

Q4.今まで行った一番遠い場所は？

ニュージランド、スペイン

Q5.きょうだい構成は？

2人の姉

Q6.最近ハマっている事は？

若作り

Q7.今、財布に入っている金額は？

数千元と、入るものも入らない

Q8.今日の仕事の後の予定は？

郡町

Q9.池田さんの性格は？

柔らかく、しなやか

Q10.あなたの宝ものは？

自分が撮りためた写真

「フレンチ・ハウス」じゃない、しあわせ。

アイト・フランス大分フランス語通訳・翻訳協会)は、その名前が表わすようにフランス語の通訳や翻訳を必要とする企業・団体と、県内でフランス語通訳・翻訳講師をしている人の橋渡しをする機関だ。フランス語会話の講座も開催している。

それにしてもなぜ今の時代にフランス語なんだろう。ふつうに考えれば英語じゃないだろうか。英語じゃなければ、韓国語や中国語のほうが営業的には有望に思えるが…。

いつも好きなものに
ふれていたい

アイト・フランスの事務局を運営している池田裕佳子さんと

さえ感じられたという。

多くの日本人は、フランスと聞けば「食」や「ファッション」をイメージすることだろう。ところが、池田さんと紅葉谷さんにとつてのフランスのイメージはそれらとは全然違うものらしい。「今の世の中、便利だとか、回りをしないで早くとかいう価値観だらけでしょ。そういうのって、無味無臭というか人間ばくないじゃないですか。その点、フランスはすごく人間くさい国なんです。わたしたちみたいに本当にフランスが好きっていう人間は、汗とか涙とか、そんなことが好きな人間だと思うんです」「言葉を換えていえば、(物質的なことよりも)精神的なことを重視するタイプなのかもしれない。だからエレベーターがな

紅葉谷昌代さんは、それぞれ別々の大学でフランス語を専攻後、フランスに留学。帰国後、ラジオの仕事をしたことがきっかけで知り合うことになった。

ふたりともせっかく身につけたフランス語の力を活かしたいと思っていたが、地方都市の大部分ではなかなかその場がない。

しかし、ワールドカップサッカーの大分開催がふたりにとつての転機になった。大分市内でフランス語教室を兼ねた事務所を開設することになったのだ。

だが、事務所を開くとなればそれなりの資金が必要になる。いうまでもなく、ふたりにそんなお金はない。そんなとき、ある人を介して長浜町のビルの5階

の部屋を紹介された。

部屋の家賃は安かったものの、エレベーターがない古いビルの最上階について、彼女たちはどう思ったのだろうか。5階まで続く長い階段は苦にならなかったのだろうか。

「ひと目惚れでした。広いテラスは開放感いっぱい風通しもいいし、これ以上の物件はないと思っただけです」

古い歴史をもつフランスでは、エレベーターがないビルの上層階で暮らす人は珍しい存在ではない。池田さんと紅葉谷さんにとつて、5階までの階段など何の問題でもなかった。それどころか、その不便さがふたりにはフランスを感じさせ、魅力的に

いことよりも、開放的な広いテラスがあることのほうが何倍も価値があるように思えるんです。この場所は、すべてにおいてフランスらしくしたい。好きなものに囲まれていたいし、ここにやって来る人にも、そんな価値観を愛してほしいと思います」

ふたりはフランスの
文化の伝導者かも

アメリカ的な合理性を好む傾向はいつのころからか、日本人共通のものとなった。「もっと便利に、より快適に」というスローガンのもと、私たちは今の繁栄を築いてきた。が、その陰で、日本人は無意識のうちに大切な何かを失ってきたのかもしれない。彼女たちの友人は言う。

「大分でこの先、フランス語が普

及することはないでしょう。それにもかかわらず、ふたりとも情熱をもつて仕事に取り組んでいる。それはなぜかというところ、フランスの文化、つまり人間らしく生きることの大切さをフランス語という形を通じて伝えていきたいんだと思います。今の日本が失いかけている大切なものを伝導していくことが、生まれる前から課せられたふたりの使命なのかもしれませんね」

営業的な利益を考えれば、ほかの仕事をしたほうがいい。そのことがわかっていながら、フランスにこだわる池田さんと紅葉谷さん。フランス語を教えるかたわら、テラスでの昼寝が大好きという彼女たちは、誰よりも豊かな心を持っているのかもしれない。



A.I.T.Oが入居している昭栄ビル（大分市長浜町2-12-10）